

第164期

中間決算のご報告

2025年4月1日

▶ 2025年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ
財務ハイライト
報告セグメント別概況
トピックス
株式情報
株主アンケートのご案内



証券コード 4401

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第164期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日）の事業概況についてご報告申し上げます。

当中間期における世界経済は、欧州ではインフレ鈍化により個人消費が持ち直したものの、中国経済の減速や米国の関税政策の影響により依然として予断を許さない状況が続きました。

このような情勢のもとで、売上高は1,957億10百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は197億65百万円（同8.0%増）、経常利益は199億99百万円（同18.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は124億19百万円（同8.1%増）となりました。

当中間期の配当金につきましては当初の予想通り1株につき52円（前年同期48円）とさせていただきました。年間配当金は、現時点では中間配当金と合わせて1株につき104円（前期100円）を予定しております。今後も配当性向40%以上を目標とするとともに、8月8日に公表した自己株式取得の結果も踏まえ、利益還元の一層の向上に努めてまいります。

ADEKAグループは中期経営計画『ADX 2026』のもと、幅広い市場で価値ある素財を提供することで稼ぐ力の強化に取り組んでいます。引き続き、環境貢献製品の拡大を推し進め、持続可能な社会と豊かなくらしの実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営及び事業につきましてご理解いただき、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

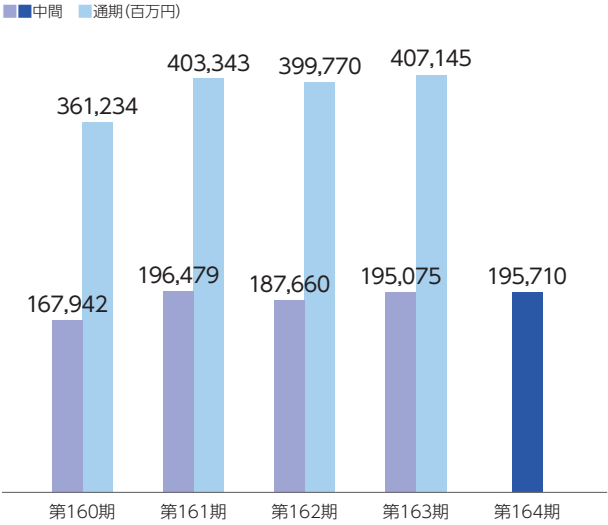
2025年12月

株式会社ADEKA
代表取締役社長 兼 社長執行役員 城 詰 秀 尊

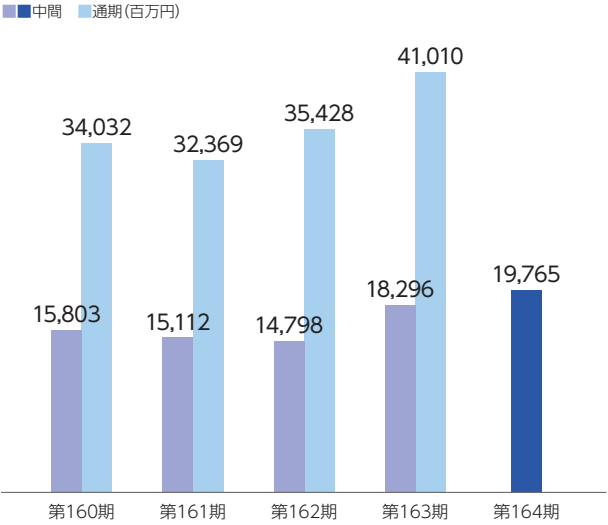
財務ハイライト

※第160期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

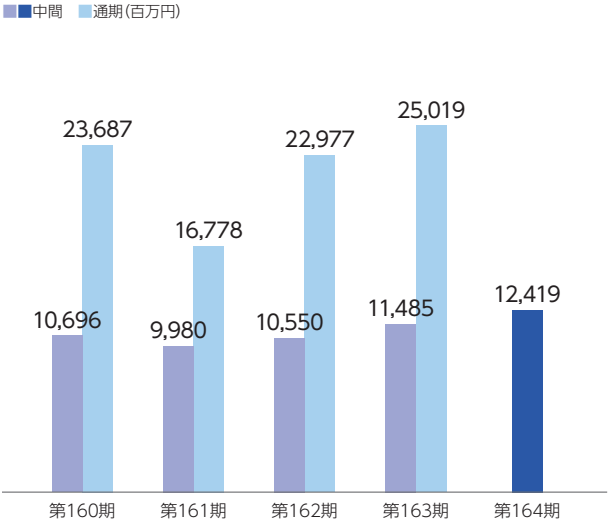
売上高



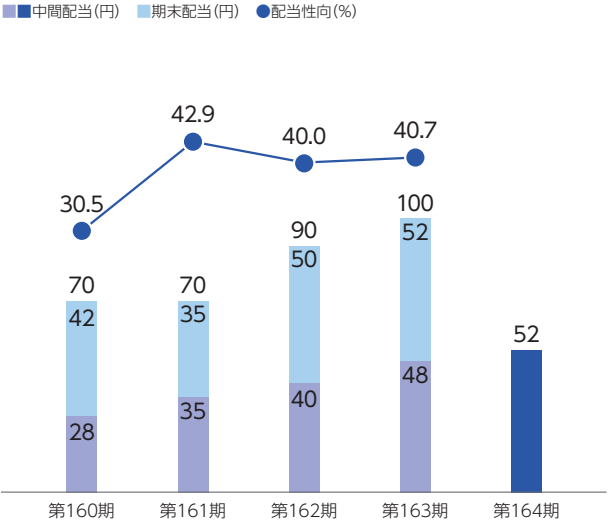
営業利益



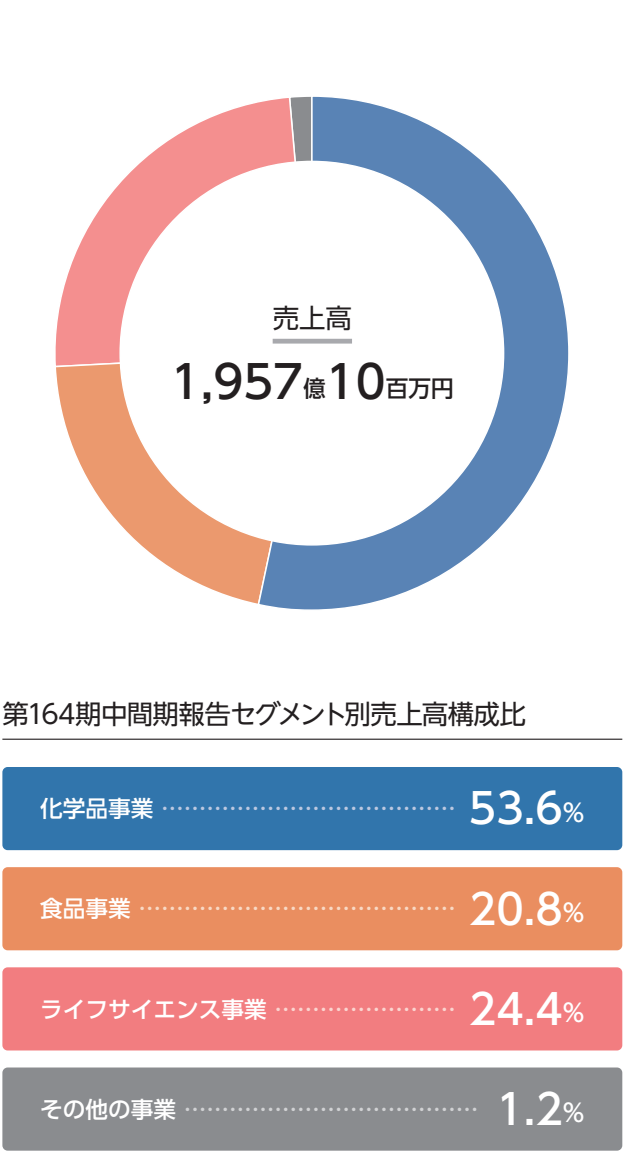
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



配当



報告セグメント別概況

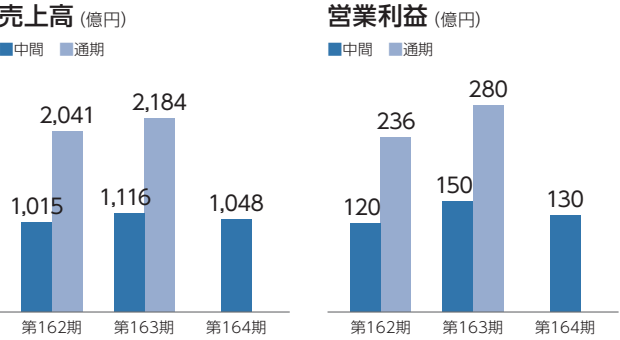


売上高

1,048億81百万円 (前年同期比 6.1%減)

営業利益

130億43百万円 (前年同期比13.2%減)



樹脂添加剤 減収・減益

- 難燃剤、酸化防止剤の販売が低調でした。一方、塩ビ用安定剤（電線、住宅内装材）の販売が堅調でした。

半導体材料 減収・減益

- 高誘電材料の販売が低調でしたが、第2四半期よりメモリの微細化に対応した新製品の出荷を始めました。半導体リソグラフィ材料の販売は好調でした。

環境材料 減収・増益

- 光硬化樹脂（ディスプレイ）、反応性乳化剤（建築塗料）などの販売が低調でした。一方、アジアや米国で潤滑油添加剤（自動車）や特殊エポキシ樹脂（電子部品）の販売が好調でした。

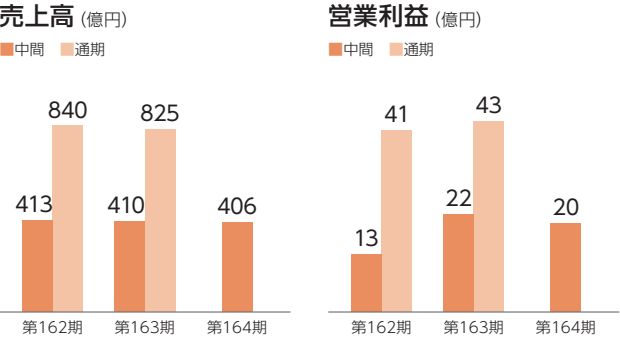


売上高

406億66百万円 (前年同期比 0.9%減)

営業利益

20億67百万円 (前年同期比 8.2%減)



減収・減益

低価格志向が続く中国では、パンや菓子類に使用されるショートニング、マーガリン類の販売が低調でした。国内では環境貢献製品が好調に推移し、特にプラントベースチーズを中心とした「デリプランツ」シリーズの販売が堅調でした。

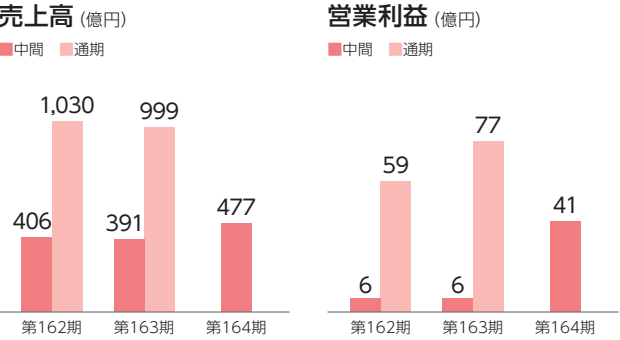


売上高

477億05百万円 (前年同期比 21.9%増)

営業利益

41億60百万円 (前年同期比560.2%増)



増収・増益

農業は、国内では米価高騰による生産意欲の高まりから水稲作付面積が増加し、主力自社開発品目をはじめとした水稲向け製品の販売が好調でした。海外では北米での市場開拓に取り組み、果樹向けに殺ダニ剤の販売が好調でした。また、米国の関税引上げの影響などにより販社への荷動きが早まったことなどから、カナダ向けで除草剤の販売が好調でした。

トピックス ～企業価値向上への取り組み～

ADEKAグループは、持続的かつ中長期的な企業価値向上に向け、将来の投資や株価水準、財務安全性を考慮し、あらゆる企業価値向上策を検討してまいります。

化学事業 次世代EUVリソグラフィ向けMOR※用金属化合物の新プラントを建設

先端半導体の製造に用いられる、次世代EUVリソグラフィ（高NA EUV）工程向けMOR用金属化合物の新プラントを鹿島化学品工場に建設します。MOR用金属化合物は、フォトレジストのEUV吸収率やエッチング耐性を向上させ、メモリやロジック半導体のさらなる微細化に寄与するキーマテリアルです。当社は、先端メモリ向け高誘電材料で培った金属錯体技術を応用することで、MOR用金属化合物を製品化し、お客様への供給を開始しています。

建屋内には将来スペースを確保し、本格的な需要増に対応するとともに、高NA EUV露光をはじめとする次世代リソグラフィ工程の技術革新をにらんだ新規材料の製造も検討しています。

※Metal Oxide Resist（金属酸化物レジスト）：高度化・複雑化する先端リソグラフィ工程において期待される新しいレジスト材料

食品事業 フードテック企業として、海外市場への進出を加速

当社はフードテック企業として、生産効率向上や食品ロス削減に貢献する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ、環境意識の高まりや食志向の多様化に対応したプラントベースフード※「デリプランツ」シリーズなど、おいしさと社会課題の解決に貢献する製品を創出しています。また、海外展開においては、従来の中国、東南アジアに加え、新たにインド、北米、欧州などの市場開拓により、環境貢献製品、高機能品を中心とした戦略製品のグローバル展開を加速させていきます。

※当社では原材料及び食品添加物に動物性原料を直接配合していない製品を「プラントベース」と表記しています。

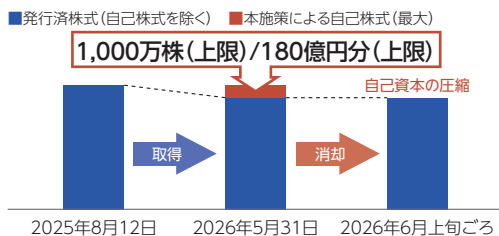
株主還元 自己株式の取得及び消却

当社は、中期経営計画『ADX 2026』（2024～2026年度）における資本効率重視の経営への変革を果たすべく、資本政策の一環として、自己株式の取得及び消却を実施いたします。これにより、自己資本の圧縮を通じて資本効率の向上を図るとともに、『ADX 2026』で掲げる「配当性向40%以上」に加え、利益還元手段の多様化の推進により、株主還元のさらなる強化を目指します。

所在地	鹿島化学品工場 (茨城県神栖市東和田29番地)
投資金額	32億円
延床面積	1,050平方メートル
スケジュール (予定)	着工:2026年4月 営業運転開始:2028年4月



世界最大級の食品展示会「Anuga 2025」（ドイツ）



化学品事業 「トランスパレックス™」がギネス世界記録™に認定

新規高性能透明化剤「トランスパレックス™(TRANSPAREX™)」が「最も透明度の高いポリプロピレン用透明化剤」として、2025年ギネス世界記録™に認定されました。TRANSPAREX™は、これまで実現できなかったガラスのような“透明性”をポリプロピレン(PP)に付与できる“素財”です。さらに、様々な機能性との両立を可能とし、製造時の環境負荷が低いとされるPPの価値を最大化させ、他樹脂からの置き換えによるモノマテリアル化に貢献します。

TRANSPAREX™によりPPを新たな用途へと広げることで、2030年度に透明化剤市場を500億円超(2024年度 300億円)へ拡大、当社シェア60%(同14%)獲得を目標に、海外で販売を強化しています。



TRANSPAREX™紹介映像はこちらから
<https://youtu.be/mx4L7vLptX0>



人的資本経営 2025年度「JPX日経インデックス人的資本100」の構成銘柄に選定

当社は、株式会社JPX総研と株式会社日本経済新聞社が2025年7月から算出を開始した新しい株価指数「JPX日経インデックス人的資本100」の構成銘柄に選定されました。この指数は、人的資本に関する開示や取り組みを充実させている企業100社で構成されています。

ADEKAグループは全ての従業員がその個性と能力を最大限発揮し活躍できるよう、人的資本向上に向けた取り組みを推進してまいります。



お知らせ 統合報告書「ADEKA report 2025」発行のご案内

ADEKAグループの企業価値向上に向けた方針や戦略、事業活動をまとめた統合報告書「ADEKA report 2025」を2025年9月に発行いたしました。2025年度版は、新たな事業機会、将来のリスクへの認識と対応などを踏まえ、ADEKAグループならではの特徴を活かし中長期にわたって価値を創造していくストーリーとして編集しました。ぜひご覧ください。



ダウンロードはこちらから
https://www.adeka.co.jp/ir/library/pdf/corporate_report2025_full_j_low.pdf



株式情報

(2025年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式総数 103,768,142株
当期末株主数 17,362名 (前期末比4,083名増)



Ⓢ 大株主の状況等、その他株式に関する詳細は、当社IRライブラリ「2026年3月期半期報告書」をご覧ください。

ダウンロードはこちらから

https://www.adeka.co.jp/ir/library/pdf/yuhou_164-2.pdf

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

●証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。

●特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主アンケートご協力のお願い

以下のいずれかの方法でアクセスいただき、表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。
WEBアンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2026年2月末までとなります。
- ご回答いただいた方には、抽選で500名様にQUOカード(500円分)を贈呈させていただきます。

アクセス方法

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。
<https://q.srdb.jp/4401/>

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



※携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【個人情報の取り扱いに関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。当社は「プライバシーポリシー」(<https://www.adeka.co.jp/privacypolicy.html>)に従って、個人情報の適正な取り扱いに努めています。「ネットでアンケート」を運営する宝印刷株式会社の個人情報に関する取り扱いについての詳細は「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)の通りです。



株式会社 ADEKA

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。

2025年9月リニューアル!

IRページ

<https://www.adeka.co.jp/ir/>



ジミスゴ素財特設サイト

<https://www.adeka.co.jp/jimisugo/>

